※令和４年度以降入学生用

学校番号	106

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	2	・HearteningⅡ ・ALL EARS ・英単語ターゲット 1900 ・Reading Forward Orange ・Front Runner 2

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅡの授業は、「話すこと（やりとり）（発表）」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能５領域の基礎的な力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。
・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。
・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと （やり取り）	話すこと （発表）	書くこと
学習到達目標	ゆっくりはっきりと話されれば、外国の文化・風習などなじみのないことでもその概要を理解することができる。	まとまりのある英文を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、全体の要旨を理解することができる。	身近なトピック（趣味や将来の夢や希望など）について幅広く意見や情報の交換をすることができる。	自分のこれまでの経験、将来の夢や希望などについて、前もって準備し、メモを見ながら理由と具体例を添えて短く説明することができる。	身近な話題に関して説明をし、自分の意見をつなぎの語やフレーズを活用して、まとまりのある段落をひとつ書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理性を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	L1, L2	聞く	a: 考えや意見を聞く表現、感情を表す表現を理解している。 b: インタビューや、ウェブの記事の感想を聞いて、要点を聞き取っている。 c: インタビューやウェブの記事の感想について、要点を聞き取ろうとしている。	定期考査など （リスニング）
		読む	a: 「未来を表す表現」「時制の一致」の表現を理解させる。 b: 日本の伝統文化である能の内容を読み取る。 c: 記事、レポートを読んで、概要を理解しようとしている。	定期考査など （リーディング）
		話す （やりとり）	a: 伝統芸能について情報を集めさせ，ペア同士で紹介させる。 b: インタビューで質問し、またそれに答えることができる。 c: インタビューで質問しようとしている。またそれに答えようとしている。	スピーキングテスト
		書く	a: 「未来を表す表現」「時制の一致」の表現を理解させる。 b: 情報や印象について、整理してわかりやすく書くことができる。 c: 情報や印象について、整理してわかりやすく書こうとしている。	定期考査など （ライティング）
	中間考査			
	L3, 4	聞く	a: 考えや意図を伝える表現の特徴や決まりを理解している。 b: 意見や会話を聞いて、話し手の意図を聞き取っている。 c: 意見や会話について、話し手の意図を聞き取ろうとしている。	定期考査など （リスニング）
		読む	a: 助動詞や動名詞の意味や働きの理解をもとに、英文の内容を読み取る技能を身につけている。 b: 記事やエッセイを読んで、概要やメッセージを理解することができる。 c: 記事やエッセイを読んで、概要やメッセージを理解しようとしている。	定期考査など （リーディング）
		話す （発表）	a: 「助動詞」「動名詞を使った表現」を用いた文に関する英語の特徴や決まりを理解している。 b: 社会問題について話し合い、賛成・反対について意見をまとめることができる。 c: 社会問題について話し合い、賛成・反対について意見をまとめようとしている。	スピーキングテスト
		書く	a: 「助動詞」「動名詞を使った表現」の形式や意味、使い方を理解している。 b: 社会問題に関する意見を、わかりやすく整理して書くことができる。 c: 社会問題に関する意見を、わかりやすく整理して書こうとしている。	定期考査など （ライティング）
	期末考査			
2	L5, L6	聞く	a: 意見とその理由を伝える表現の特徴や決まりを理解している。 b: 会話や講義を聞いて、要点や詳細、理由を聞き取っている。 c: 会話や講義について、要点や詳細、理由を聞き取ろうとしている。	定期考査など （リスニング）
		読む	a: 「不定詞を使った表現」「SVOO の受動態」の意味や働きの理解をもとに、英文の内容を読み取る技能を身につけている。 b: 報告書を読んで、要点や詳細を理解することができる。 c: 報告書を読んで、要点や詳細を理解しようとしている。	定期考査など （リーディング）
		話す （発表）	a: 「不定詞を使った表現」「SVOO の受動態」を用いた分に関する英語の特徴や決まりを理解している。 b: 相手の意見と意図を確認しながら、自分の意見を言うことができる。 c: 相手の意見と意図を確認しながら、自分の意見を言おうとしている。	スピーキングテスト
		書く	a: 「不定詞を使った表現」「SVOO の受動態」の形式や意味、使い方を理解している。 b: 仮説の可能性について、自分の意見を理由とともに述べるパラグラフを書くことができる。 c: 仮説の可能性について、自分の意見を理由とともに述べるパラグラフを書こうとしている。	定期考査など （ライティング）
	中間考査			

※令和４年度以降入学生用

	L7, L8	聞く	a: 例示や因果関係を表すディスコースマーカーの意味や働きを理解している。 b: 雑誌やニュースの文章を聞き、主張や論点を理解し、会話を聞き、必要な情報を聞き取っている。 c: ニュースについて主張や論点を、会話について必要な情報を聞き取ろうとしている。	定期考査など（リスニング）
		読む	a: 「分詞構文」「比較に関する表現」の意味や働きの理解をもとに、英文の内容を読み取る技能を身につけている。 b: 講演、書籍（一部）を読んで、要点や詳細を理解することができる。 c: 講演、書籍（一部）を読んで、要点や詳細を理解しようとしている。	定期考査など（リーディング）
		話す（やりとり）	a: 相手の意見に同意や反対をする表現を理解している。 b: 相手の意見に賛成・反対を表明し、その理由を説明することができる。 c: 相手の意見に賛成・反対を表明し、その理由を説明しようとしている。	スピーキングテスト
		書く	a: 「分詞構文」「比較に関する表現」の形式や意味、使い方を理解している。 b: 申込用紙に必要事項を適切に書き入れることができる。 c: 申込用紙に必要事項を適切に書き入れようとしている。	定期考査など（ライティング）
	期末考査			
3	L9, L10	聞く	a: 感情を表す表現を理解している。 b: ロボットの説明を聞き、要点や詳細を聞き取っている。 c: ロボットについて、要点や詳細を聞き取ろうとしている。	定期考査など（リスニング）
		読む	a: 「関係詞」「仮定法の表現」の意味や働きの理解をもとに、英文の内容を読み取る技能を身につけている。 b: 展示や記事を読んで、要点や詳細、書き手の伝えたいことを理解することができる。 c: 展示や記事を読んで、要点や詳細、書き手の伝えたいことを理解しようとしている。	定期考査など（リーディング）
		話す（やりとり・発表）	a: 相手の発言の意図を確認する表現を理解している。 b: 相手の発言の意図を確認しながら、自分の意見を言うことができる。 c: 相手の発言の意図を確認しながら、自分の意見を言おうとしている。	スピーキングテスト
		書く	a: 「関係詞」「仮定法の表現」の形式や意味、使い方を理解している。 b: 自分の意見や調べたことを、わかりやすく紹介記事で書くことができる。 c: 自分の意見や調べたことを、わかりやすく紹介記事で書こうとしている。	定期考査など（ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度